

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（京都市老人保養センター）

センター名 京都市老人保養センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

午前9時～午後5時まで

【開所日】

12月27日から翌年1月5日まで

【管理業務】

- ・受付窓口業務（入館受付、使用料徴収等）
- ・施設の維持管理等（清掃、水質管理、部屋施錠・開錠、遺失・拾得物の管理等）
- 【サービス向上のための取組】
- ・公式ホームページの開設、センターパンフレットの作成、施設だよりの定期発行
- ・週1回の休所日廃止
- ・利用者満足度調査の実施、ご意見箱の設置
- ・職員研修の実施
- ・運営委員会の開催 など

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
京都市とも連携を図りながら、施設の維持管理および計画的修繕を目指す。

2 事業実施内容

- 4月 交通安全啓発運動、シニアカー乗車体験（山科警察署）
- 5月 イベント風呂（しょうぶ湯）
- 6月 運営委員会
- 9月 健康体操教室（～3月）
- 10月 麻雀大会
- 11月 スリッパ卓球大会
- 12月 イベント風呂（ゆず風呂）
- シニア向けブックリサイクル（醍醐図書館と共同企画）
- 3月 手作り作品発表会

3 サービス提供状況

所長 1名
副所長 1名
パート職員 8名 計10名

4 市内中小企業への発注に対する考え方

地元市内企業の有効活用の観点から、発注品については市内企業を優先し、ISO9001の規格に基づき、「サービス品質」「適正な価格」「企業の姿勢」を考慮し、最適な発注先を選定した。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 施設利用者数(延べ人数)

43,092 人

(2) 施設稼働率

100.0 % (開所日数: 355日, 閉所期間: 12月27日~1月5日)

(3) 収支実績

ア 令和7年度収入状況(単位: 円)

委託料	32,000,000
その他	5,003,500
収入計	37,003,500

イ 令和7年度支出状況(単位: 円)

人件費	16,593,514
事業費	2,358,208
委託費	4,169,220
小額修繕費	609,620
その他	13,224,398
支出計	36,954,960

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

◆施設利用者アンケート(令和8年3月21日~26日)

【方法】施設、職員の対応等について直接配布

【設問数】 8問

【回答数】 106枚

(2) 利用者満足度把握の結果

- ・職員対応 : 非常に良い61%、良い35%、普通3%、悪い0%、空白1%
- ・保養センター利用目的 : 仲間づくり・交流24%、健康維持25%、趣味活動4%、入浴37%
外出による気分転換9%、その他0%
- ・各事業 : 非常に良い27%、良い51%、普通16%、悪い0%、空白6%
- ・館内設備 : 大変満足31%、満足41%、普通22%、不満足4%、空白2%
- ・清掃 : 大変満足29%、満足33%、普通16%、不満足4%、空白4%
- ・今後の利用 : したい82%、わからない4%、したくない8%、空白6%
- ・利用者住所 : 醍醐地区80% 桃山地区7% その他地区11% 空白2%

(3) 意見等への主な対応状況

多くの方に継続してご利用いただけているが、特に浴室におけるマナーの問題や清掃状況については少なからずのご意見をお持ちの様子がうかがえるので、館内の掲示物を工夫するなどしてさらに満足度を向上させたい。

7 評価(指定管理者自己評価)

昨年度に比べ、ポイント利用での来館数が減少したことにより、全体の利用者数は伸び悩んだ。減少数に男女差はなく、今年度の数字が今後の基準値になるかと考える。自主事業では、カラオケなど利用増加が見込めるイベントの開催などを積極的に企画し、新規利用者の獲得も目指す。

収支状況としては、経年劣化などによる修繕対応が多数発生したため、予算を超えて実施せざるを得なかったが、全体的には黒字決算に持っていくことができている。

障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止、及び合理的配慮の提供への対応状況については、浴室など危険を伴う利用等について、原則介助が必要な方の単独利用はお断りしているが、耳の不自由な方への筆談など、簡易なことについては対応している。